

2024年3月期 第2四半期 決算説明会

2023年11月8日

富士フイルム ホールディングス株式会社

NEVER
STOP

FUJIFILM
Value from Innovation

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

本日のアジェンダ – 2024年3月期 第2四半期 決算説明会 –

2024年3月期 上期(2023年4月～9月)

1

決算ハイライト及びトピックス

富士フイルムホールディングス株式会社 代表取締役社長・CEO **後藤禎一**

2

連結業績及び事業概況

富士フイルムホールディングス株式会社 取締役・CFO **樋口昌之**

2024年3月期

3

連結業績予想

富士フイルムホールディングス株式会社 取締役・CFO **樋口昌之**

01 2024年3月期 上期 決算ハイライト及びトピックス

2024年3月期 上期 決算ハイライト

2024年3月期 上期 連結業績

売上高

1兆3,885億円

対前年

↑+2.9%

営業利益

1,255億円

↑+3.9%

当社株主帰属
四半期純利益

1,136億円

↑+19.3%

■ 上期

- 売上高は、メディカルシステム、イメージングの販売好調や為替影響等により増収。
- 営業利益は、半導体市況停滞の影響等を受けるも、イメージングの大幅な増収等が貢献し上期過去最高益を達成。
- 当社株主帰属四半期純利益についても、投資有価証券評価益の計上等があり上期過去最高益を達成。

■ 第2四半期(3ヶ月)

- 売上高・営業利益・当社株主帰属四半期純利益が過去最高を更新。

2024年3月期 通期連結業績予想

売上高

2兆9,500億円

営業利益

2,900億円

当社株主帰属
当期純利益

2,250億円

(2023/8/9)

- 通期連結業績予想は、前回予想を据え置き、売上・利益の過去最高更新を目指す。
- 年間配当は、14期連続増配となる150円/株を予定。

上期の売上高は1兆3,885億円、営業利益は1,255億円、当社株主帰属四半期純利益は1,136億円となりました。

売上高は、メディカルシステムやイメージングの販売が好調だったことに加え、為替影響もあり、増収となりました。

営業利益は、半導体市況停滞の影響などを受けるも、イメージングの大幅な増収などが貢献し、上期過去最高益を達成しました。

当社株主帰属四半期純利益についても、営業利益の増加に加え、投資有価証券の評価益を計上したことなどにより、上期過去最高益を達成しました。

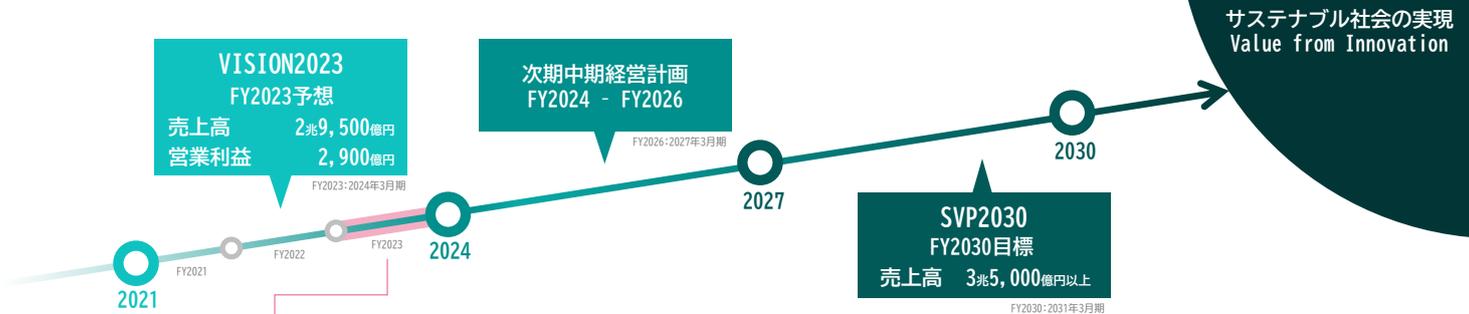
2024年3月期の通期連結業績予想は、イメージングの好調や、半導体市況などの現在の経済環境を見据えて、一部事業で見直しを行いますが、全体では据え置き、売上・利益の過去最高更新を目指します。

2024年3月期の年間配当予想は、前回お伝えしました通り、14期連続増配となる150円です。

2024年3月期 第2四半期 決算トピックス 1/4

次期中期経営計画に向けた今年度の取り組み

*SVP2030(Sustainable Value Plan 2030): 2030年度をゴールとするCSR計画
VISION2023最終年度として、SVP2030*の達成に繋がる次期中期経営計画に向けた基盤強化に取り組む



今年度下期の重点課題

1. バイオCDMO | 大型設備投資(2万ℓ培養タンク)のスケジュール通りの遂行 [※ Page6](#)
2. 電子材料 | 米国Entegris社の半導体用プロセスケミカル事業買収完了後の統合作業推進 [※ Page7](#)
3. サステナビリティへの取り組み(FY2023目標の達成)
健診センター「NURA(ニューラ)」の展開 : FY2030までに100拠点 [※ Page8](#)
医療AI技術を活用した製品・サービスの導入 : FY2023までに100の国・地域

© FUJIFILM Holdings Corporation 5

次に第2四半期のトピックスをお話しします。

今年度は現中期経営計画「VISION2023」の最終年度として、来年度からスタートする次期中期経営計画に向けた基盤強化に取り組み、2030年度をゴールとする「SVP2030」の達成に繋げていきます。

今年度下期の重点課題は次の3点です。

- 1つ目は、バイオCDMOで、大型設備投資をスケジュール通り遂行すること。
- 2つ目は、電子材料で、米国Entegris社の半導体用プロセスケミカル事業の買収完了後の統合作業を推進すること。
- そして3つ目は、サステナビリティへの取り組みです。

次のページより、それぞれの取り組みをご説明します。

2024年3月期 第2四半期 決算トピックス 2/4

次期中期経営計画に向けた今年度の取り組み

バイオCDMO

大型設備投資(2万ℓ培養タンク)のスケジュール通りの遂行

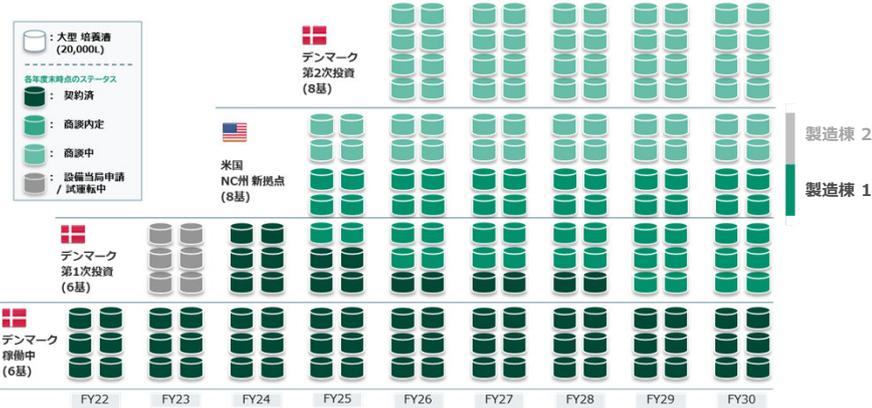
- 2024年度稼働予定のデンマーク拠点(第1次投資)の立ち上げは順調に進捗中
- 本稼働に向けた大手製薬企業との商談を推進

Johnson & Johnsonグループ

 Janssen Supply Group, LLCと米国新拠点の大型設備による製造を受託。 ※今年度中に本契約締結予定


デンマーク拠点

- 建設工事は95%進捗
 - GMP^{*}取得にむけた準備に着手
- GMP : Good Manufacturing Practice



FUJIFILM Diosynth Biotechnologies × Janssen Supply Group



米国(ノースカロライナ)拠点

2025年度からの稼働に向けてスケジュール通り進捗中

© FUJIFILM Holdings Corporation 6

まず、バイオCDMOの取り組みについてです。

デンマーク拠点と米国ノースカロライナ拠点での、2万ℓ培養タンクを増設する大型設備投資をスケジュール通り遂行します。

具体的には、当初の予定通り建設が進んでいるデンマーク拠点の第1次投資について確実に立ち上げを行い、2024年度からの本稼働に繋げていきます。

加えて、現在建設中の米国新拠点、及びデンマーク拠点の第2次投資を含め、本稼働に向けて大手製薬企業との商談を推進していきます。

その一例をご紹介しますと、今回、グローバルに事業を展開するヘルスケア企業、Johnson & JohnsonグループのJanssen Supply Group, LLCより、同社のバイオ医薬品の製造を受託していきます。

これは、当社とヤンセンが築いてきた良好な関係性から結実したもので、今後、長期にわたってヤンセンのパイプラインの治験薬製造・商業生産ニーズに対応していきます。

当社は、バイオCDMOに約70億ドルに及ぶ戦略的投資によって大幅な生産能力拡大を進めており、今後も新設備の立ち上げとお客様との商談を並行して進め、早期に収益貢献を実現する体制を構築していきます。

2024年3月期 第2四半期 決算トピックス 3/4

次期中期経営計画に向けた今年度の取り組み

■ 電子材料

米国Entegris社の半導体用プロセスケミカル事業の買収が完了(2023年10月)
買収事業の統合を推進し、グループシナジーを早期に創出

グローバルで計20拠点※の強固な製造体制を構築

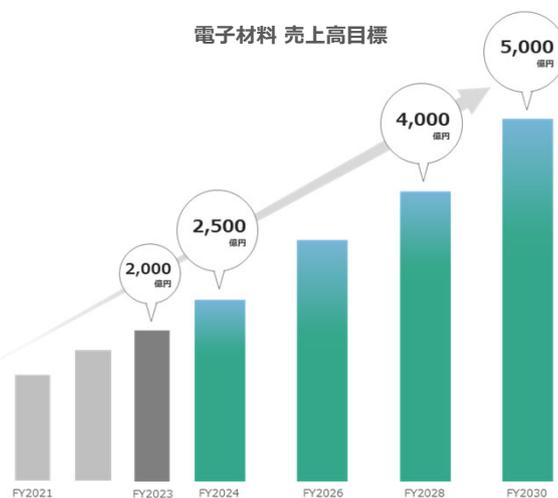


今回初

当社電子材料では初めてとなる
東南アジアでの製造拠点を取得



電子材料 売上高目標



© FUJIFILM Holdings Corporation 7

続いて、電子材料の取り組みについてです。

本年10月に買収が完了した、米国Entegris社の半導体用プロセスケミカル事業の統合を推進し、グループシナジーを早期に創出することで、電子材料の成長加速に繋げていきます。

本買収によって、製品ポートフォリオ拡充による販売力強化とともに、グローバル製造体制の更なる強化を図ります。

既存の11製造拠点に、当社電子材料としては初めてとなる東南アジアの製造拠点を含む、7拠点を加え、グローバルで合計18拠点の強固な製造体制となりました。

さらに、2024年に稼働する熊本、韓国を加えた全20拠点で、より強靱なサプライチェーンを構築し、半導体業界の発展に貢献していきます。

2024年3月期 第2四半期 決算トピックス 4/4

次期中期経営計画に向けた今年度の取り組み

ニューラ 4拠点目
がん検診を中心とした健診センター「NURA」をモンゴル国ウランバートルにオープン
2030年度までに新興国を中心に世界100拠点まで拡大を図る

NURA延べ利用者数(2023年10月末時点)

16,000人以上

今回初

パートナー契約による「NURA」の開設

1995年より写真事業で協業してきた複合企業「Tavan Bogd Group」とテクノロジーパートナー契約を締結



モンゴル国・オヨーンエルデネ首相らと

オープニングセレモニー

2030年度目標

グローバル拠点数

100 拠点

© FUJIFILM Holdings Corporation 8

最後に、サステナビリティへの取り組みとして健診センター「NURA」の展開について説明します。

本年9月にがん検診を中心とした健診センター「NURA」をモンゴル国ウランバートルにオープンしました。本拠点は2021年にベンガルールに「NURA」を開設して以来4拠点目となります。

当社は、これまで「NURA」を通じて延べ16,000人以上に対し健診サービスを提供してきました。

今回、1995年より写真事業で協業してきた複合企業「Tavan Bogd Group」とのパートナーシップのもと、これまでインドで蓄積してきた健診サービスのノウハウをもとに、モンゴル国で高品質な健診サービスを提供する環境を構築し、モンゴル国の医療の質向上に貢献していきます。

また、今月には5拠点をインドのハイデラバードに開設する予定です。

当社は、2030年度までに新興国を中心に世界100拠点まで拡大し、日本の健診・予防文化を普及させることで人々の健康維持増進に寄与していくとともに、当社の持続的な成長につなげていきます。

02 2024年3月期 上期 連結業績及び事業概況

2024年3月期 上期 業績 (2023年4月～2023年9月)

(単位：億円)

	上期				
	2023年3月期	2024年3月期	対前年度	為替影響	為替影響 除く
売上高	13,499 100.0%	13,885 100.0%	386 +2.9%	363	23 +0.2%
営業利益	1,208 8.9%	1,255 9.0%	47 +3.9%	87	-40 -3.2%
税金等調整前四半期純利益	1,295 9.6%	1,521 11.0%	226 +17.4%	90	136 +10.5%
当社株主帰属四半期純利益	952 7.0%	1,136 8.2%	184 +19.3%	62	122 +12.8%
1株当たり当社株主帰属四半期純利益	237.39円	283.08円	45.69円		
為替 ：米ドル ：ユーロ	135円 139円	142円 153円	7円安 14円安		

<その他増減要因 (対前年度)>
営業利益における
原材料価格影響： -5億円
(半導体等の部材価格は含まず)

© FUJIFILM Holdings Corporation 10

2024年3月期上期の業績は、

売上高は、メディカルシステムやイメージングの販売好調や、為替の円安影響により、前年比2.9%増の1兆3,885億円となりました。

営業利益は、バイオCDMOやLSソリューションで棚卸資産の評価減を第1四半期に計上し、また、電子材料で市況軟化の影響を受けた中でも、増収による増益、及び為替影響などで前年比3.9%増の1,255億円となりました。

当社株主帰属四半期純利益は、営業利益の増加に加え、投資有価証券評価益の計上などにより、前年比19.3%増の1,136億円となりました。

セグメント別 連結売上高 | 営業利益

(単位：億円)

売上高	上期		対前年度		為替影響除く	
	2023年 3月期	2024年 3月期				
ヘルスケア	4,212	4,482	270	+6.4%	125	+3.0%
※ マテリアルズ	3,469	3,196	-273	-7.9%	-366	-10.5%
ビジネスイノベーション	3,984	4,015	31	+0.8%	-14	-0.4%
イメージング	1,834	2,192	358	+19.5%	278	+15.1%
合計	13,499	13,885	386	+2.9%	23	+0.2%

*セグメント間取引消去後

(単位：億円)

営業利益	上期		対前年度		為替影響除く	
	2023年 3月期	2024年 3月期				
ヘルスケア	445	418	-27	-6.0%	-40	-9.0%
※ マテリアルズ	385	186	-199	-51.5%	-226	-58.5%
ビジネスイノベーション	301	330	29	+9.6%	26	+8.6%
イメージング	266	494	228	+85.5%	184	+69.1%
全社/連結調整	-189	-173	16	-	16	-
合計	1,208	1,255	47	+3.9%	-40	-3.2%

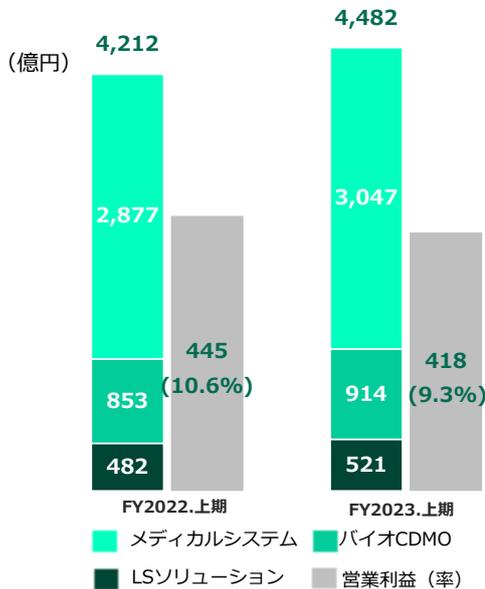
※ 2024年3月期より非破壊検査事業の売上高・営業利益の金額を「マテリアルズ」セグメントから「ヘルスケア」セグメントに組み替えて表示しています。本区分変更にあわせ、2023年3月期の情報をリスタートしています。

セグメント別の売上高・営業利益はご覧の通りです。

2023年3月期 上期(2023年4月~9月)

セグメント別概況：ヘルスケア

全サブセグメントにおいて増収となり、売上高対前年+6.4%、営業利益はバイオCDMOで前年度に計上したキャンセルフィーの反動等により、対前年-6.0%で着地。



メディカルシステム 売上高 3,047億円 (対前年+5.9%)

- 内視鏡、医療IT等の販売が好調に推移し、増収。内視鏡では、国内で新製品の販売が好調だったことや、欧州等で販売が伸長。医療ITでは、医用画像情報システム(PACS)「SYNAPSE」や3D画像解析システム「SYNAPSE VINCENT」を中心としたシステム・サービス販売が米国・欧州を中心に好調に推移。

バイオCDMO 売上高 914億円 (対前年+7.0%)

- 前年度にワクチン原薬製造に関するキャンセルフィー収入を計上した反動があるも、抗体医薬の製造受託がデンマーク拠点を中心に堅調に推移したことにより、増収。
- バイオベンチャー顧客の資金調達難を背景とした遺伝子治療薬等の受託低調により、有効期限切迫となった共通部材・消耗品の評価減を第1四半期に計上。

LSソリューション 売上高 521億円 (対前年+8.2%)

- ライフサイエンスは、バイオ医薬品用培地の原材料需給逼迫が改善し、出荷が進んだこと等により、増収。
- コロナワクチン用培地などに使用する一部原材料の評価減を第1四半期に計上。

※ 2024年3月期より非破壊検査事業の売上高・営業利益の金額を「マテリアルズ」セグメントから「ヘルスケア」セグメントに組み替えて表示しています。本区分変更にあわせ、2023年3月期の情報をリセットしています。

© FUJIFILM Holdings Corporation 12

ヘルスケアの業績の概要を説明します。

全サブセグメントにおいて増収を確保したことにより、売上高は、前年比6.4%増の4,482億円、営業利益は、今年度第1四半期に計上したバイオCDMO、LSソリューションでの棚卸資産評価減に加えて、バイオCDMOで前年度に計上したキャンセルフィーの反動などにより減益となり、前年比6.0%減の418億円となりました。

メディカルシステムは、内視鏡、医療ITなどの販売が好調に推移し、売上が増加しました。内視鏡では、国内で新製品の販売が好調だった他、欧州等で販売が伸長しました。医療ITでは、医用画像情報システム(PACS)「SYNAPSE」や、3D画像解析システム「SYNAPSE VINCENT」を中心としたシステム・サービス販売が米国・欧州を中心に好調に推移しました。

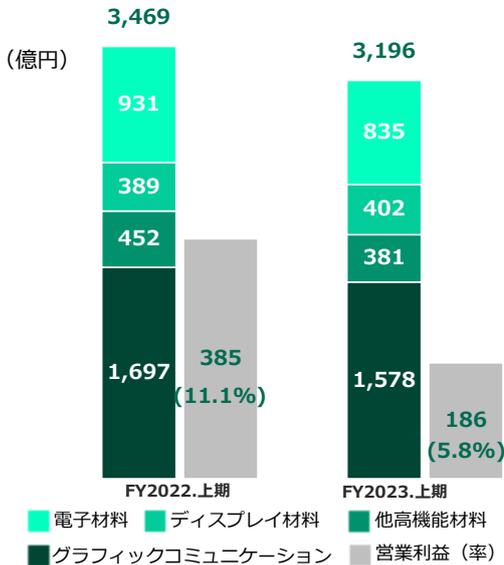
バイオCDMOは、前年度にワクチン原薬製造に関するキャンセルフィー収入を計上したことによる反動があるものの、デンマーク拠点を中心に抗体医薬の製造受託が堅調に推移したことなどにより、売上が増加しました。一方で、バイオベンチャー顧客の資金調達難を背景とした遺伝子治療薬等の受託低調により、有効期限切迫となった共通部材・消耗品の評価減を第1四半期に計上しました。

LSソリューションは、バイオ医薬品用培地の原材料需給逼迫が改善し、出荷が進んだことなどにより、売上が増加しました。一方で、コロナ禍における調達リードタイム長期化をうけて先行確保した、コロナワクチン用培地などに使用する一部原材料が、有効期限切迫となり評価減を第1四半期に計上しました。

2023年3月期 上期(2023年4月～9月)

セグメント別概況：マテリアルズ

半導体市況の停滞やインクジェットヘッドの需要減少等により、売上高対前年-7.9%、営業利益対前年-51.5%の減収・減益で着地。



電子材料 売上高 835億円 (対前年-10.2%)

- 半導体市場の市況軟化の影響を受け、減収。
- 本年10月に、米国Entegris社の半導体用プロセスケミカル事業の買収が完了。今後、製品ラインアップ拡充による顧客提案力強化を通じて、新規ビジネスの更なる拡大を図る。

ディスプレイ材料 売上高 402億円 (対前年+3.3%)

- サプライチェーン全体での生産調整があった前年に対して、増収。

他高機能材料 売上高 381億円 (対前年-15.7%)

- 産業機材で業務用PCの需要低迷を受けたタッチパネル用センサーフィルム「エクスクリア」の販売減等により、減収。

グラフィックコミュニケーション 売上高 1,578億円 (対前年-7.0%)

- グラフィックコミュニケーションでは、刷版材料分野において欧米を中心とした印刷物需要減の影響などにより、減収。
- インクジェットでは、セラミック市場向けインクジェットヘッドの販売が、中国の不動産市場における需要低迷の影響を受けたこと等により、減収。

※ 2024年3月期より非破壊検査事業の売上高・営業利益の金額を「マテリアルズ」セグメントから「ヘルスケア」セグメントに組み替えて表示しています。本区分変更にあわせ、2023年3月期の情報をリセットしています。

© FUJIFILM Holdings Corporation 13

マテリアルズの業績の概要を説明します。

半導体市況の停滞やインクジェットヘッドの販売減少などにより、売上高は、前年比7.9%減の3,196億円、営業利益は、前年比51.5%減の186億円となりました。

電子材料は、半導体市場の市況軟化の影響を受け、売上が減少しました。本年10月には、米国Entegris社の半導体用プロセスケミカル材料事業の買収が完了しました。今後、製品ラインアップ拡充による顧客提案力強化を通じて、新規ビジネスの更なる拡大を図ります。

ディスプレイ材料は、サプライチェーン全体での生産調整があった前年に対して、パネルメーカーの稼働が回復し、売上が増加しました。

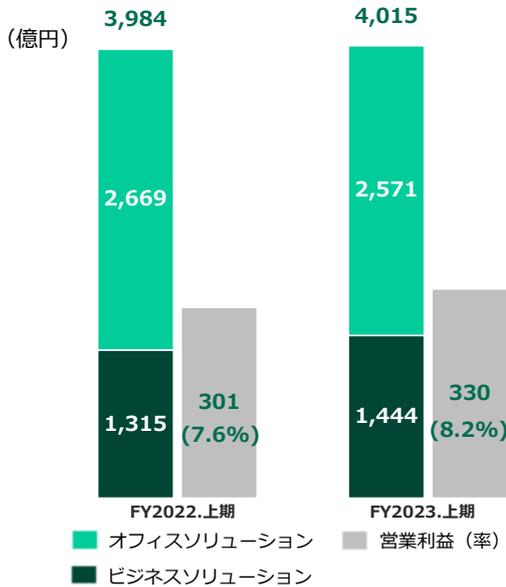
グラフィックコミュニケーションは、刷版材料分野において欧米を中心とした印刷物需要の減少影響などにより、売上が減少しました。

インクジェットは、セラミック市場向けインクジェットヘッドの販売が、中国の不動産市場における需要低迷の影響を受けたこと等により、売上が減少しました。

2023年3月期 上期(2023年4月～9月)

セグメント別概況：ビジネスイノベーション

ビジネスソリューションの増収等により、売上高対前年+0.8%、営業利益対前年+9.6%と増収・増益で着地。



オフィスソリューション 売上高 2,571億円 (対前年-3.7%)

- 新規OEMの拡大やワールドワイドでの価格改定等を実施するも、欧米向けの輸出が減少したこと等により、減収。
- 2023年9月より、新市場のインドにおいて、高いセキュリティレベルでテレワークなど多様な働き方を支援するコンパクトなA3カラー・モノクロ複合機 (Apeos C3060 / C2560 / C2060 / 3560 / 3060 / 2560) の販売を開始。

ビジネスソリューション 売上高 1,444億円 (対前年+9.8%)

- 国内自治体向けの売上が増加したことや、DX関連ソリューションの販売が増加したこと等により、増収。
- お客様のDXを通じた成功体験 CHX (カスタマー・ハッピー・エクスペリエンス) を実現するソリューション・サービスを展開。第一弾として、IT資産の可視化や運用／管理から環境改善支援まで、お客様のニーズに合わせてワンストップで提供するITサポートサービス「IT Expert Services」を2023年6月より提供開始。
- 第二弾として、中堅・中小企業向けを中心とするクラウドサービス「FUJIFILM IWpro」の提供を2023年11月より開始。お客様の利用システムを繋ぎ、情報の取得から活用、保管までを集約するワークスペース (統合環境) を提供。

© FUJIFILM Holdings Corporation 14

ビジネスイノベーションの業績の概要を説明します。

ビジネスソリューションの増収などにより、売上高は、前年比0.8%増の4,015億円、営業利益は、前年比9.6%増の330億円となりました。

オフィスソリューションは、新規OEMの拡大やワールドワイドでの価格改定などを行いました。が、欧米向けの輸出が減少したことなどにより、売上が減少しました。本年9月より、新市場であるインドにおいて、高いセキュリティレベルでテレワークなど多様な働き方を支援するコンパクトなA3カラー・モノクロ複合機の販売を開始しました。

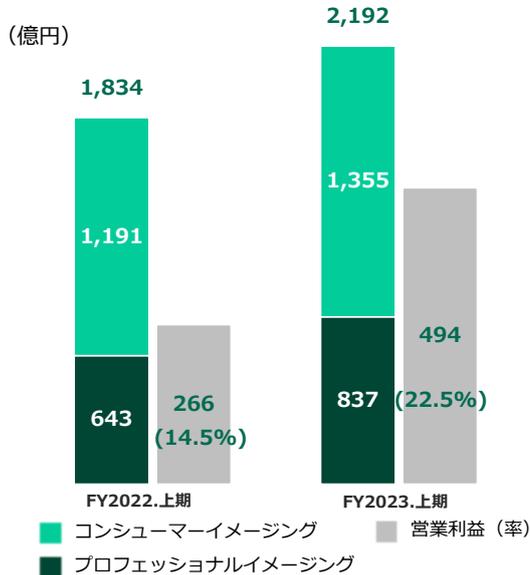
ビジネスソリューションは、国内で自治体向けの売上が増加したことや、DX関連ソリューションの販売が増加し、売上が増加しました。

ビジネスソリューションでは、お客様のDXを通じた成功体験 CHX (カスタマー・ハッピー・エクスペリエンス) を実現するソリューション・サービスを展開しています。IT資産の可視化や運用・管理から環境改善支援まで、お客様のニーズに合わせてワンストップで提供するITサポートサービス「IT Expert Services」に続く第二弾として、本年11月より中堅・中小企業向けを中心とするクラウドサービス「FUJIFILM IWpro」の提供を開始しました。情報の取得から活用、保管までを集約するワークスペースを提供し、お客様の利用する様々な業務システムを繋ぐことで、多種多様な業務プロセスの変革を支援し、お客様のDXをさらに推し進めます。

2023年3月期 上期(2023年4月～9月)

セグメント別概況：イメージング

インスタントフォトシステムやデジタルカメラの販売が好調に推移し、売上高対前年+19.5%、営業利益率対前年+85.5%と増収・増益で着地。



コンシューマーイメージング

売上高 1,355億円 (対前年+13.7%)

- ・ インスタントフォトシステムの販売が好調に推移し、増収。
- ・ 2023年9月に、INSTAX“チェキ”シリーズの世界的な需要増に対応するため、チェキフィルムの生産設備増強を発表。
- ・ 2023年10月には、いつでもどこでも気軽に撮影できる“手のひらサイズカメラ”「INSTAX Pal™」を発売。撮影シーンや撮影体験を広げる豊富な機能を搭載し、スマホプリンター「INSTAX Link™」シリーズ等とBluetoothで接続することで、撮った画像をチェキプリントにして楽しむことができ、市場から高い評価を獲得。

プロフェッショナルイメージング

売上高 837億円 (対前年+30.2%)

- ・ デジタルカメラは、前年度に発売した「X-H2」「X-H2S」「X-T5」に加え、2023年6月に発売した「X-S20」の販売も好調に推移し、大幅に増収。
- ・ 2023年9月に、「GFXシリーズ」の最新モデルとして、シリーズ最高の高速連写・AF・動画性能を実現したフラッグシップモデル「GFX100 II」を発売。

© FUJIFILM Holdings Corporation 15

イメージングの業績の概要を説明します。

インスタントフォトシステムやデジタルカメラの販売が好調に推移し、売上高は、前年比19.5%増の2,192億円、営業利益は、前年比85.5%増の494億円となりました。

コンシューマーイメージングでは、インスタントフォトシステムINSTAXの販売が好調で、売上が増加しました。

INSTAXは、2023年9月に、INSTAX“チェキ”シリーズの世界的な需要増に対応するため、チェキフィルムの生産設備増強を発表しました。

また、2023年10月には、いつでもどこでも気軽に撮影できる“手のひらサイズカメラ”「INSTAX Pal™」を発売しました。撮影シーンや撮影体験を広げる豊富な機能を搭載し、スマホプリンター「INSTAX Link™」シリーズ等とBluetoothで接続することで、撮った画像をチェキプリントにして楽しむことができ、市場から高い評価を獲得しています。

プロフェッショナルイメージングでは、前年度に発売した「X-H2」、「X-H2S」、「X-T5」に加え、2023年6月に発売した「X-S20」の販売も好調に推移し、大幅に増収となりました。2023年9月には、「GFXシリーズ」の最新モデルとして、シリーズ最高の高速連写・AF・動画性能を実現したフラッグシップモデル「GFX100 II」を発売しました。

2023年3月期 上期(2023年4月～9月)

連結貸借対照表

(単位：億円)									
	22年 3月期末	23年 3月期末	24年3月期 9月末	対23年 3月期末		22年 3月期末	23年 3月期末	24年3月期 9月末	対23年 3月期末
現金及び現金同等物	4,863	2,686	3,222	536	長短社債及び借入金	4,472	3,762	5,472	1,710
受取債権	5,986	6,331	6,360	29	支払債務	3,032	3,204	3,225	21
棚卸資産	5,045	5,673	6,119	446	その他流動・固定負債	6,800	6,498	6,789	291
その他流動資産	1,353	1,621	1,649	28	負債計	14,304	13,464	15,486	2,022
流動資産計	17,247	16,311	17,350	1,039	株主資本計	25,027	27,631	29,749	2,118
有形固定資産	7,368	9,761	11,789	2,028	非支配持分	222	248	35	-213
営業権	8,240	8,583	8,952	369	純資産計	25,249	27,879	29,784	1,905
その他固定資産	6,698	6,688	7,179	491	負債・純資産合計	39,553	41,343	45,270	3,927
固定資産計	22,306	25,032	27,920	2,888	(単位：円)				
資産合計	39,553	41,343	45,270	3,927	期末日 為替レート	22年 3月期末	23年 3月期末	24年3月期 9月末	対23年 3月期末
					米ドル	122	134	150	16円安
					ユーロ	137	146	158	12円安

© FUJIFILM Holdings Corporation 16

バランスシートについて説明します。

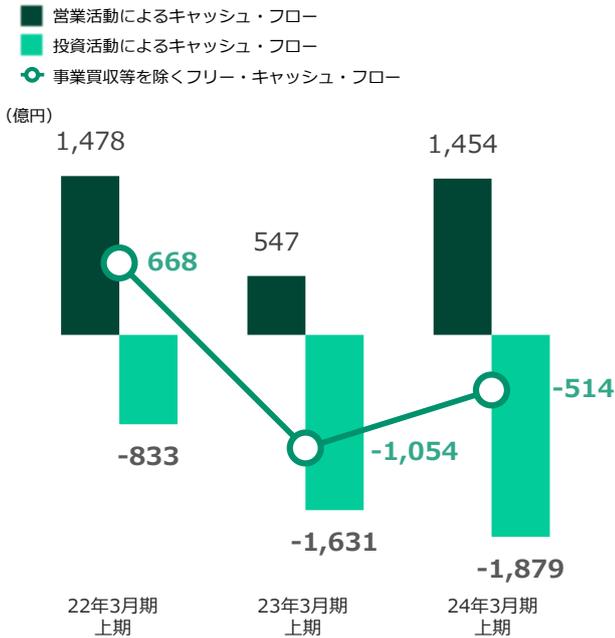
2024年3月期9月末時点の資産合計は、有形固定資産や現金及び現金同等物の増加などにより、
2023年3月期末時点と比べ、3,927億円増の4兆5,270億円となりました。

負債は、2,022億円増の1兆5,486億円となりました。

株主資本は、2,118億円増の2兆9,749億円となりました。

2023年3月期 上期(2023年4月~9月)

連結キャッシュ・フロー



(単位：億円)

	22年3月期 上期	23年3月期 上期	24年3月期 上期
当期純利益	984	966	1,127
減価償却費	650	708	718
受取債権の増(-)減(+)	579	93	260
棚卸資産の増(-)減(+)	-473	-894	-159
営業債務の増(+)-減(-)	29	158	-70
その他	-291	-484	-422
営業活動によるCF	1,478	547	1,454
設備投資	-584	-1,186	-1,921
ソフトウェアの購入	-176	-280	-212
投資有価証券の売却・購入等	-23	124	89
事業買収	0	-154	-
その他	-50	-135	165
投資活動によるCF	-833	-1,631	-1,879
フリー・キャッシュ・フロー(FCF)	645	-1,084	-425
事業買収等を除くFCF※	668	-1,054	-514

※フリー・キャッシュ・フローから、事業買収、及び投資有価証券等の売却・購入を控除しています。

© FUJIFILM Holdings Corporation 17

キャッシュ・フローについて説明します。

営業活動によるキャッシュ・フローは、当期純利益が増加したほか、前年同期は部材の需給逼迫に備えるために一時的に積み増した棚卸資産を、今年度はサプライチェーンの改善により適正化したことや、前年度後半に販売好調だったことで増加した受取債権の回収が進んだこと等により、前年に対し907億円増加し、1,454億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、バイオCDMOを中心とする設備投資の拡大により、前年に対し248億円増加し、1,879億円の支出となりました。

この結果、事業買収等を除くフリー・キャッシュ・フローは、514億円の支出となりました。

2024年3月期 第2四半期 決算の説明は以上です。

03 2024年3月期 連結業績予想

2024年3月期 通期連結業績予想

(単位：億円)

	2023年3月期	2024年3月期 前回予想 (2023/8/9公表値)	2024年3月期 今回予想 (2023/11/8公表値)	対前年度	対前回予想
売上高	28,590 100%	29,500 100%	29,500 100%	910 +3.2%	-
営業利益	2,731 9.6%	2,900 9.8%	2,900 9.8%	169 +6.2%	-
税金等調整前当期純利益	2,822 9.9%	2,950 10.0%	2,950 10.0%	128 +4.5%	-
当社株主帰属当期純利益	2,194 7.7%	2,250 7.6%	2,250 7.6%	56 +2.5%	-
1株当たり当社株主帰属当期純利益 ^(※)	547.21円	560.95円	560.63円	+13.42円	-0.32円
ROE	8.3%	8.0%	8.0%	-0.3%	-
ROIC	6.1%	5.9%	5.9%	-0.2%	-
CCC	125日	111日	111日	-14日	-
為替 ：米ドル	136円	136円	138円	2円安	2円安
：ユーロ	141円	146円	149円	8円安	3円安
銀価格 (/kg)	93,000円	106,000円	106,000円	+13,000円	-

※ 1株当たり当社株主帰属当期純利益の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2023年9月30日現在の発行株式数(自己株式数を除く)を使用しています。

2024年3月期の通期連結業績予想は、冒頭に後藤からお伝えしました通り、売上高は2兆9,500億円、営業利益は2,900億円、当社株主帰属当期純利益は2,250億円と、前回予想を据え置き、過去最高の更新を目指します。

セグメント別業績予想

		(単位：億円)					
売上高	2023年3月期	2024年3月期 前回予想 (2023/8/9公表値)	2024年3月期 今回予想 (2023/11/8公表値)	対前回予想		為替影響除く	
※ ヘルスケア	9,286	9,700	9,700	-	-	-110	-1.1%
※ マテリアルズ	6,820	7,050	6,950	-100	-1.4%	-165	-2.3%
ビジネスイノベーション	8,381	8,450	8,400	-50	-0.6%	-95	-1.1%
イメージング	4,103	4,300	4,450	150	+3.5%	90	+2.1%
合計	28,590	29,500	29,500	-	-	-280	-0.9%

		(単位：億円)					
営業利益	2023年3月期	2024年3月期 前回予想 (2023/8/9公表値)	2024年3月期 今回予想 (2023/11/8公表値)	対前回予想		為替影響除く	
※ ヘルスケア	1,028	1,120	1,120	-	-	-20	-1.8%
※ マテリアルズ	654	580	500	-80	-13.8%	-95	-16.4%
ビジネスイノベーション	695	780	780	-	-	-5	-0.6%
イメージング	729	800	880	80	+10.0%	50	+6.3%
全社/連結調整	-375	-380	-380	-	-	-	-
合計	2,731	2,900	2,900	-	-	-70	-2.4%

※ 2024年3月期より非破壊検査事業の売上高・営業利益の金額を「マテリアルズ」セグメントから「ヘルスケア」セグメントに組み替えて表示しています。本区分変更にあわせ、2023年3月期の情報をリステートしています。

セグメント別業績予想はご覧の通りです。

上期の実績や足元の事業状況、今後の市場環境を鑑みて、セグメント別の売上高及び営業利益を修正します。

売上高は、業績好調なイメージングを上方修正する一方で、高機能材料・グラフィックコミュニケーション共に市況軟化の影響を受けているマテリアルズと、欧米向け輸出が減少しているビジネスイノベーションを下方修正します。

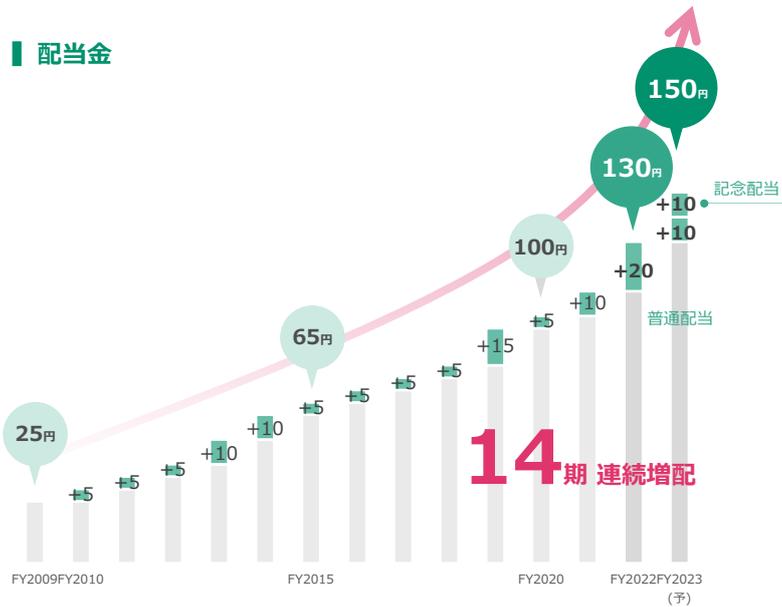
営業利益は、好調なイメージングを上方修正し、減収の影響に加え、電子材料においてM&A費用の増加の影響を受けるマテリアルズを下方修正します。

セグメント別売上高の修正の詳細は、30ページをご参照ください。

株主還元

株主還元

■ 配当金



2024年3月期の年間配当予想：

- 14期連続増配となる150円/株
- 普通配当の10円増配に加え、10円の創立90周年記念配当を実施

2024年3月期の年間配当予想は、創立90周年記念配当10円を含む、14期連続増配となる1株当たり150円を予定します。

04 2024年3月期 上期 決算 参考資料

2Q | 上期 業績

(単位：億円)

	2Q					上期				
	2023年3月期	2024年3月期	対前年度	為替影響	為替影響 除く	2023年3月期	2024年3月期	対前年度	為替影響	為替影響 除く
売上高	7,240 100.0%	7,277 過去 最高 100.0%	37 +0.5%	190	-153 -2.1%	13,499 100.0%	13,885 過去 最高 100.0%	386 +2.9%	363	23 +0.2%
営業利益	712 9.8%	733 過去 最高 10.1%	21 +2.9%	47	-26 -3.7%	1,208 8.9%	1,255 過去 最高 9.0%	47 +3.9%	87	-40 -3.2%
税金等調整前四半期純利益	743 10.3%	828 過去 最高 11.4%	85 +11.4%	61	24 +3.2%	1,295 9.6%	1,521 過去 最高 11.0%	226 +17.4%	90	136 +10.5%
当社株主帰属四半期純利益	538 7.4%	592 過去 最高 8.1%	54 +9.9%	42	12 +2.1%	952 7.0%	1,136 過去 最高 8.2%	184 +19.3%	62	122 +12.8%
為替										
：米ドル	139円	145円	6円安			135円	142円	7円安		
：ユーロ	139円	157円	18円安			139円	153円	14円安		

<その他増減要因 (2Q/上期 対前年度)>

営業利益における原材料価格影響： 2億円/-5億円

2Q | 上期 業績

(単位：億円)

売上高	2Q						上期					
	2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く		2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く	
			金額	増減率	金額	増減率			金額	増減率	金額	増減率
ヘルスケア	2,384	2,414	30	+1.3%	-47	-1.9%	4,212	4,482	270	+6.4%	125	+3.0%
マテリアルズ	1,745	1,650	-95	-5.4%	-141	-8.0%	3,469	3,196	-273	-7.9%	-366	-10.5%
ビジネスイノベーション	2,102	2,073	-29	-1.4%	-52	-2.5%	3,984	4,015	31	+0.8%	-14	-0.4%
イメージング	1,009	1,140	131	+12.9%	87	+8.5%	1,834	2,192	358	+19.5%	278	+15.1%
合計	7,240	7,277	37	+0.5%	-153	-2.1%	13,499	13,885	386	+2.9%	23	+0.2%

*セグメント間取引消去後

(単位：億円)

(単位：億円)

営業利益 【営業利益率】	2Q						上期					
	2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く		2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く	
			金額	増減率	金額	増減率			金額	増減率	金額	増減率
ヘルスケア	332 [13.9%]	315 [13.1%]	-17	-4.9%	-22	-6.5%	445 [10.6%]	418 [9.3%]	-27	-6.0%	-40	-9.0%
マテリアルズ	162 [9.2%]	93 [5.6%]	-69	-42.4%	-80	-48.9%	385 [11.1%]	186 [5.8%]	-199	-51.5%	-226	-58.5%
ビジネスイノベーション	159 [7.6%]	161 [7.8%]	2	+1.4%	-1	-0.0%	301 [7.6%]	330 [8.2%]	29	+9.6%	26	+8.6%
イメージング	161 [15.9%]	261 [22.9%]	100	+62.1%	71	+44.2%	266 [14.5%]	494 [22.5%]	228	+85.5%	184	+69.1%
全社/連結調整	-102	-97	5	-	6	-	-189	-173	16	-	16	-
合計	712 [9.8%]	733 [10.1%]	21	+2.9%	-26	-3.7%	1,208 [8.9%]	1,255 [9.0%]	47	+3.9%	-40	-3.2%

※ 2024年3月期より非破壊検査事業の売上高・営業利益の金額を「マテリアルズ」セグメントから「ヘルスケア」セグメントに組み替えて表示しています。本区分変更にあわせ、2023年3月期の情報をリステートしています。

2Q | 上期 業績 : ヘルスケア

(単位: 億円)

売上高	2Q						上期					
	2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く		2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く	
			対前年度	対前年度	為替影響除く	為替影響除く			対前年度	対前年度	為替影響除く	為替影響除く
※ メディカルシステム	1,574	1,646	72	+4.6%	26	+1.7%	2,877	3,047	170	+5.9%	86	+3.0%
バイオCDMO	547	505	-42	-7.7%	-67	-12.4%	853	914	61	+7.0%	13	+1.4%
LSソリューション	263	263	0	0.0%	-6	-2.2%	482	521	39	+8.2%	26	+5.5%
合計	2,384	2,414	30	+1.3%	-47	-1.9%	4,212	4,482	270	+6.4%	125	+3.0%

*セグメント間取引消去後

(単位: 億円)

営業利益 [営業利益率]	2Q						上期					
	2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く		2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く	
			対前年度	対前年度	為替影響除く	為替影響除く			対前年度	対前年度	為替影響除く	為替影響除く
ヘルスケア	332 [13.9%]	315 [13.1%]	-17	-4.9%	-22	-6.5%	445 [10.6%]	418 [9.3%]	-27	-6.0%	-40	-9.0%

※ 2024年3月期より非破壊検査事業の売上高・営業利益の金額を「マテリアルズ」セグメントから「ヘルスケア」セグメントに組み替えて表示しています。本区分変更にあわせ、2023年3月期の情報をリステートしています。

2Q | 上期 業績 : マテリアルズ

(単位: 億円)

売上高	2Q						上期					
	2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く		2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く	
			対前年度	対前年度	為替影響除く	為替影響除く			対前年度	対前年度	為替影響除く	為替影響除く
電子材料	485	430	-55	-11.3%	-71	-14.7%	931	835	-96	-10.2%	-130	-13.9%
ディスプレイ材料	152	201	49	+32.2%	49	+32.2%	389	402	13	+3.3%	13	+3.3%
※ 他高機能材料	227	196	-31	-13.9%	-35	-15.8%	452	381	-71	-15.7%	-81	-17.9%
グラフィックコミュニケーション	881	823	-58	-6.4%	-84	-9.2%	1,697	1,578	-119	-7.0%	-168	-9.9%
合計	1,745	1,650	-95	-5.4%	-141	-8.0%	3,469	3,196	-273	-7.9%	-366	-10.5%

*セグメント間取引消去後

(単位: 億円)

営業利益 [営業利益率]	2Q						上期					
	2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く		2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く	
			対前年度	対前年度	為替影響除く	為替影響除く			対前年度	対前年度	為替影響除く	為替影響除く
マテリアルズ	162 [9.2%]	93 [5.6%]	-69	-42.4%	-80	-48.9%	385 [11.1%]	186 [5.8%]	-199	-51.5%	-226	-58.5%

※ 2024年3月期より非破壊検査事業の売上高・営業利益の金額を「マテリアルズ」セグメントから「ヘルスケア」セグメントに組み替えて表示しています。本区分変更にあわせ、2023年3月期の情報をリステートしています。

2Q | 上期 業績 : ビジネスイノベーション

(単位 : 億円)

売上高	2Q						上期					
	2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く		2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く	
オフィスソリューション	1,380	1,313	-67	-4.9%	-86	-6.4%	2,669	2,571	-98	-3.7%	-137	-5.2%
ビジネスソリューション	722	760	38	+5.4%	34	+4.8%	1,315	1,444	129	+9.8%	123	+9.4%
合計	2,102	2,073	-29	-1.4%	-52	-2.5%	3,984	4,015	31	+0.8%	-14	-0.4%

*セグメント間取引消去後

(単位 : 億円)

営業利益 [営業利益率]	2Q						上期					
	2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く		2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く	
ビジネスイノベーション	159 [7.6%]	161 [7.8%]	2	+1.4%	-1	-0.0%	301 [7.6%]	330 [8.2%]	29	+9.6%	26	+8.6%

2Q | 上期 業績 : イメージング

(単位: 億円)

売上高	2Q						上期					
	2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く		2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く	
コンシューマーイメージング	650	723	73	+11.0%	39	+5.7%	1,191	1,355	164	+13.7%	103	+8.5%
プロフェッショナルイメージング	359	417	58	+16.1%	48	+13.5%	643	837	194	+30.2%	175	+27.3%
合計	1,009	1,140	131	+12.9%	87	+8.5%	1,834	2,192	358	+19.5%	278	+15.1%

*セグメント間取引消去後

(単位: 億円)

営業利益 [営業利益率]	2Q						上期					
	2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く		2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く	
イメージング	161 [15.9%]	261 [22.9%]	100	+62.1%	71	+44.2%	266 [14.5%]	494 [22.5%]	228	+85.5%	184	+69.1%

営業利益増減分析(上期実績 対前年実績)

(単位: 億円)

	上期		対前年度	為替	原材料価格	一時費用	オペレーション等	
	2023年 3月期	2024年 3月期						
ヘルスケア	445	418	-27	-6.0%	13	-10	-24	-6
※4 マテリアルズ	385	186	-199	-51.5%	27	7	-16	-217
ビジネスイノベーション	301	330	29	+9.6%	3	1	40	-15
イメージング	266	494	228	+85.5%	44	-3	8	179
全社/連結調整	-189	-173	16	-	-	-	-	16
合計	1,208	1,255	47	+3.9%	※1 87	※2 -5	※3 8	-43

※1: 為替レート

	2023年 3月期 上期	2024年 3月期 上期
米ドル	135円	142円
ユーロ	139円	153円

※2: 原材料別(半導体影響は除く)

	上期
銀	-19
アルミ	15
他(燃料等)	-1
合計	-5

※3: 一時費用明細

	2023年 3月期 上期	2024年 3月期 上期	差異
ヘルスケア	38	62	-24
新規買収会社(CDMO)	33	-	33
棚卸資産評価減(CDMO/L5)	-	50	-50
その他	5	12	-7
マテリアルズ	8	24	-16
新規買収会社(電子材料)	-	10	-10
グラフィック/インクジェット等	8	14	-6
ビジネスイノベーション	40	-	40
体質強化費用	24	-	24
新ブランド移行費用	16	-	16
イメージング	16	8	8
体質強化費用等	16	8	8
全社	-	-	-
合計	102	94	8

※4 2024年3月期より非破壊検査事業の売上高・営業利益の金額を「マテリアルズ」セグメントから「ヘルスケア」セグメントに組み替えて表示しています。本区分変更にあわせ、2023年3月期の情報をリステートしています。

2024年3月期 通期連結業績予想(2023年11月8日時点)

事業別売上高

(単位:億円)

	2023年3月期 実績	2024年3月期 前回予想(8/9)	2024年3月期 今回予想(11/8)	対前年度	対前回予想		
※ ヘルスケア	9,286	9,700	9,700	414	+4.5%	-	-
メディカルシステム	6,218	6,500	6,500	282	+4.5%	-	-
バイオCDMO	1,942	1,950	1,950	8	+0.4%	-	-
LSソリューション	1,126	1,250	1,250	124	+11.0%	-	-
※ マテリアルズ	6,820	7,050	6,950	130	+1.9%	-100	-1.4%
電子材料	1,806	1,900	2,000	194	+10.7%	100	+5.3%
ディスプレイ材料	701	750	750	49	+6.9%	-	-
他高機能材料	893	950	900	7	+0.7%	-50	-5.3%
グラフィックコミュニケーション	3,420	3,450	3,300	-120	-3.5%	-150	-4.3%
ビジネスソリューション	8,381	8,450	8,400	19	+0.2%	-50	-0.6%
オフィスソリューション	5,555	5,550	5,450	-105	-1.9%	-100	-1.8%
ビジネスソリューション	2,826	2,900	2,950	124	+4.4%	50	+1.7%
イメージング	4,103	4,300	4,450	347	+8.5%	150	+3.5%
コンシューマーイメージング	2,669	2,750	2,800	131	+4.9%	50	+1.8%
プロフェッショナルイメージング	1,434	1,550	1,650	216	+15.0%	100	+6.5%
合計	28,590	29,500	29,500	910	+3.2%	-	-
為替							
米ドル	136円	136円	138円	2円安		2円安	
ユーロ	141円	146円	149円	8円安		3円安	

※ 2024年3月期より非破壊検査事業の売上高・営業利益の金額を「マテリアルズ」セグメントから「ヘルスケア」セグメントに組み替えて表示しています。本区分変更にあわせ、2023年3月期の情報をリステートしています。

営業利益増減分析(通期業績予想 対前回業績予想)

(単位:億円)

	2024年3月期(通期)							
	前回予想 (2023/8/9)	今回予想 (2023/11/8)	対前回予想		為替	原材料価格	一時費用	オペレー ション等
※4 ヘルスケア	1,120	1,120	-	-	20	1	5	-26
マテリアルズ	580	500	-80	-13.8%	15	5	-45	-55
ビジネスイノベーション	780	780	-	-	5	-	-	-5
イメージング	800	880	80	+10.0%	30	1	-	49
全社/連結調整	-380	-380	-	-	-	-	-	-
合計	2,900	2,900	-	-	※1 70	※2 7	※3 -40	-37

※1: 為替レート

※3: 一時費用明細

	前回予想 (2023/8/9)	今回予想 (2023/11/8)
米ドル	136円	138円
ユーロ	146円	149円

※2: 原材料別(半導体影響は除く)

	通期
銀	-
アルミ	4
他(燃料等)	3
合計	7

	前回予想 (2023/8/9)	今回予想 (2023/11/8)	差異
ヘルスケア	75	70	5
補加資産評価減(CDMO/LS)	50	50	-
その他	25	20	5
マテリアルズ	55	100	-45
新規興収会社(電子材料)	10	35	-25
体質強化費用(その他高機能材料)	-	10	-10
グラフィック/インクジェット等	45	55	-10
ビジネスイノベーション	-	-	-
体質強化費用	-	-	-
新ブランド移行費用	-	-	-
イメージング	20	20	-
体質強化費用等	20	20	-
全社	-	-	-
合計	150	190	-40

※4 2024年3月期より非破壊検査事業の売上高・営業利益の金額を「マテリアルズ」セグメントから「ヘルスケア」セグメントに組み替えて表示しています。
本区分変更にあわせ、2023年3月期の情報をリステートしています。

© FUJIFILM Holdings Corporation 31

国内・海外別連結売上高

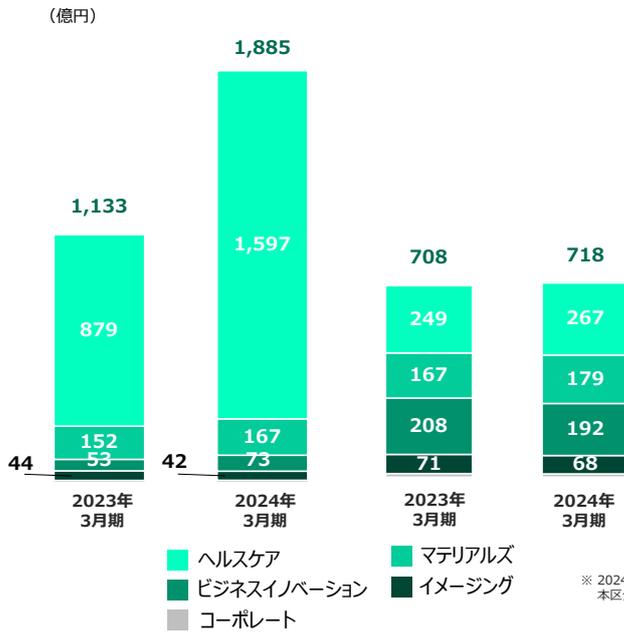
(単位：億円)

	2023年3月期 上期		2024年3月期 上期		対前年度	
	構成比(%)		構成比(%)			
日本	35.5%	4,785	36.1%	5,011	226	+4.7%
米州	22.6%	3,054	22.0%	3,052	-2	-0.1%
欧州	14.8%	1,996	14.3%	1,980	-16	-0.8%
内、中国	13.6%	1,833	13.8%	1,923	90	+4.9%
アジア他	27.1%	3,664	27.6%	3,842	178	+4.9%
海外	64.5%	8,714	63.9%	8,874	160	+1.8%
合計	100.0%	13,499	100.0%	13,885	386	+2.9%

設備投資 | 減価償却費

設備投資（有形固定資産）
上期減価償却費
上期

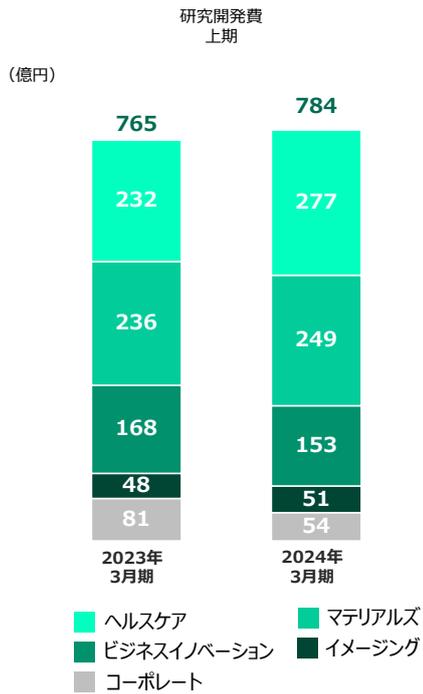
(単位：億円)



年度	2Q		上期		通期	
	2023年 3月期	2024年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期 (予想)
ヘルスケア	478	834	879	1,597	2,199	3,850
マテリアルズ	92	99	152	167	446	680
ビジネスイノベーション	29	52	53	73	126	120
イメージング	33	19	44	42	96	120
コーポレート	3	2	5	6	16	30
設備投資（有形固定資産）	635	1,006	1,133	1,885	2,883	4,800
ヘルスケア	38	42	62	80	171	150
マテリアルズ	22	19	38	30	62	60
ビジネスイノベーション	182	79	306	141	479	280
イメージング	13	14	25	20	47	50
コーポレート	8	19	16	26	32	60
設備投資（ソフト、レンタル資産他）	263	173	447	297	791	600
ヘルスケア	127	135	249	267	505	560
マテリアルズ	82	84	167	179	328	350
ビジネスイノベーション	105	99	208	192	422	420
イメージング	36	34	71	68	141	150
コーポレート	7	6	13	12	26	30
減価償却費	357	358	708	718	1,422	1,510

※ 2024年3月期より非破壊検査事業の売上高・営業利益の金額を「マテリアルズ」セグメントから「ヘルスケア」セグメントに組み替えて表示しています。本区分変更にあわせ、2023年3月期の情報をリステートしています。

研究開発費 | 販売費及び一般管理費



(単位：億円)

年度	上期		通期	
	2023年 3月期	2024年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期 (予想)
ヘルスケア	232	277	490	
マテリアルズ	236	249	464	
ビジネスイノベーション	168	153	331	
イメージング	48	51	95	
コーポレート	81	54	161	
研究開発費	765	784	1,541	1,650
<売上高比>	5.7%	5.6%	5.4%	5.6%
販売費及び一般管理費	3,434	3,545	7,107	
<売上高比>	25.5%	25.6%	24.8%	

※ 2024年3月期より非破壊検査事業の売上高・営業利益の金額を「マテリアルズ」セグメントから「ヘルスケア」セグメントに組み替えて表示しています。本区分変更にあわせ、2023年3月期の情報をリスタートしています。

為替 | 原材料価格 | 人員

為替

(単位：円)

	2023年3月期					2024年3月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	上期	下期(予想)	通期(予想)
米ドル	130	139	141	132	136	138	145	142	135	138
ユーロ	138	139	144	142	141	150	157	153	145	149

為替感応度 1円の変動による影響 (年間)

	売上高	営業利益
米ドル (1円あたり)	50億円	6億円
ユーロ (1円あたり)	15億円	8億円

原材料価格 (平均)

(単位：千円/kg)

	2023年3月期					2024年3月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	上期	下期(予想)	通期(予想)
銀	95	86	94	97	93	106	110	107	106	106

人員

(単位：人)

	2022.9末	2022.12末	2023.3末	2023.6末	2023.9末
連結	75,090	74,491	73,878	73,583	72,909

パイプライン (2023年11月8日時点)

開発番号	薬効・適応症	剤形	地域	開発段階
T-705	重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) 治療薬	経口	日本	承認申請中
T-817MA	アルツハイマー型認知症治療薬	経口	米国	Ph II
			日本	Ph II
	欧州		Ph II	
	日本		Ph II	
	脳卒中後のリハビリテーション効果促進薬			
T-4288	新規フルオロケトライド系抗菌薬	経口	日本	承認申請中
FF-10502	進行・再発固形がん治療薬	注射	米国	Ph II
FF-10832	進行性固形がん治療薬 (ゲムシタピンリボソーム)	注射	米国	Ph I
FF-10850	進行性固形がん治療薬 (トボテカンリボソーム)	注射	米国	Ph I

参考情報

- **富士フイルムホールディングス 株主・投資家情報**
<https://ir.fujifilm.com/ja/investors.html>
- **富士フイルムホールディングス 統合報告書2023**
<https://ir.fujifilm.com/ja/investors/ir-materials/integrated-report.html>
- **IR資料室**
<https://ir.fujifilm.com/ja/investors/ir-materials.html>
- **富士フイルムグループ事業概要**
<https://ir.fujifilm.com/ja/investors/ir-materials/business-overview.html>
- **グローバルブランディングキャンペーン「NEVER STOP」**
<https://www.fujifilm.com/jp/ja/about/brand/story/neverstop>

FUJIFILM

Value from Innovation

富士フィルムは、生み出しつづけます。

人々の心が躍る革新的な「技術」「製品」「サービス」を。

明日のビジネスや生活の可能性を拡げるチカラになるために。

富士フィルム ホールディングス株式会社
コーポレートコミュニケーション部

<https://holdings.fujifilm.com/ja>